

事業名	自然環境保全地区等指定管理事業費		
細事業名	自然環境保全地区等管理事業費	財務コード	126101
担当部課室	森林環境 部	みどり自然 課	自然保護 担当 (内線) 6508

調書番号	66
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 S46 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)、県(委託:市町村)、補助(自然環境保全地区等の土地所有者)		
目的	だれ(何)を対象に 自然環境保全地区等	その対象をどのような状態にして 生物の多様性の確保その他の良好な自然環境の保全が図られている	結果、何に結びつけるのか 県民の福祉の増進
	内容 ○自然環境保全地区等の標識の設置・補修 ・対象箇所数:69箇所 ○自然環境保全地区等の巡視、清掃等の管理業務の委託 ・対象市町村数:20市町村 ○自然環境保全地区等に指定された土地の固定資産税の納税義務者への交付金の交付 ・交付対象者数:54名		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
活動指標	実績報告件数 ※自然環境保全地区等がある市町村数	目標 20 実績(見込) 20 達成率 100.0 達成区分 b	20 20 100.0 b	20 20 100.0 b	20 20 100.0 b	20 20 100.0 b	20 20 100.0 b	20 20 100.0 b		
	成果指標	巡視・清掃等の実施回数 ※契約書に定められた①巡視②清掃③その他 各1回ずつ	目標 207 実績(見込) 301 達成率 145.4 達成区分 a	207 529 255.6 a	207 574 277.3 a	207 464 224.2 a	207 423 204.3 a	207 207 100.0 b	207 207 100.0 b	
		決算(予算) 単位:千円		2,402	2,572	2,476	2,710	2,869	3,556	3,618

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	全ての自然環境保全地区等において、適正な管理業務が実施され、環境の保全が図られていることから、意図した成果を上げている。
成果指標	a		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	全ての自然環境保全地区等において目標を大きく上回る実施回数となっており、市町村における自主的な保全策等も図られている。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (全ての自然環境保全地区等で巡回、清掃等が行われ、良好な自然環境が保全されていることから、見直す余地はない)
その他	説明	
見直しの必要性	無	巡視、清掃等の実施回数が予定を大幅に上回っており、十分な成果を挙げているため

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。